

今月の一言 低炭素都市なる言葉がかなり一般化してきました。機器の省CO₂、その機器を使う場(建物)の省CO₂、建物の集合体としてのエリア・交通を含めた都市レベルでの省CO₂。低炭素を考える範囲は確実に広がって来ています。(吉田康之)

Topics

- 8月8日に石原上席研究員が、分担執筆した書籍「Joint ventures in construction」が出版されました。
- 9月16日に開催する第21回NSRI都市・環境フォーラムは、伊藤滋氏(早稲田大学特命教授)によるご講演「私見的都市計画」です。詳細は<http://www.1k.mesh.ne.jp/toshikei/>まで。

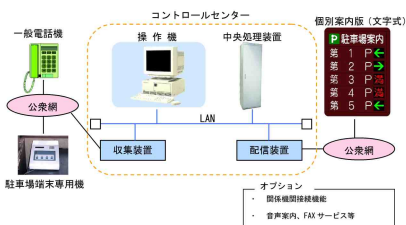
「チュウアン」と「PANAC」

- ITSとエリアマネジメントの事始 -

今日、「ケイタイ(ケータイ)」といえ、ほとんどの人にとっては携帯電話を指すであろう。本来は下に続く「電話」とセットで意味を持つ語句であるが、一意的にそれを意味することが広く了解されているわけである。

このような「ケイタイ」とは比べようもないのだが、ちょうど20年ほど前に、都市における自動車交通の利便性と駐車場の有効利用を目指して、あるひとつのシステムの体系化と事業制度の充実に産官で取り組み、その名称である「チュウアン」の認知と普及に努力した。漢字で書くと「駐案」、具体的には「駐車場案内システム」のことであり、当初はいわば業界用語的な略称ではあったが、全国的にシステムが導入、普及するにつれて、都市交通の分野では「チュウアン」が定着し、それが駐車場案内システム自体はもちろん、より広く施策や制度までを意味することとして認知されるようになった。

この「チュウアン」の目的を国土交通省の事業説明から引用すると、「既存の駐車場ストックの有効利用を促進することにより、路上駐車や駐車場を捜すうろつき交通の解消、利用者の利便性向上などを図り、もって道路交通の円滑化と市街地の活性化に資する」とある。すなわち、「情報」によって「既存ストックを活用」し、「利便性向上」と「活性化」を図るといふ、今日のまちづくりにも通じるものがある。また、「うろつき交通解消」は無駄な燃料消費削減にも直結することから、低炭素社会づくりという、より今日的な位置づけも可能といえる。



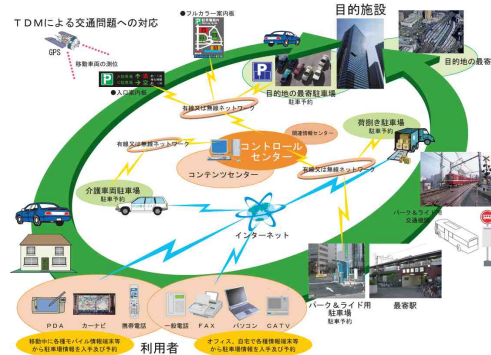
基本的な仕組みとしては、駐車場端末装置による満空などの利用情報収集、コントロールセンターによる収集情報処理と提供情報加工、

電話回線などによる駐車場から、情報提供装置への情報伝達、路上の案内板などの情報提供装置での情報提供、の大きく4つの部分から構成されている。

このうち、コントロールセンターと情報提供装置は道路附属

物として街路事業などの補助対象であり、駐車場端末装置は道路開発資金の融資対象となるなど、事業的にも手厚い対応になっていた。このような背景もあり、昭和62年に事業費ベース1億円でスタートした「チュウアン」は急速に事業を伸ばし、9年後の平成8年には、事業費ベースで40億円を越え、完了箇所数も合計で約40箇所を数えるまでになった。その後平成10年代半ばまではある程度の整備が進み、約60箇所程度まで完了したものの、長期構想である約400箇所には遠く及ばずに横ばいから減少(廃止)に転じることとなった。

この直接の原因としては、整備主体である地方公共団体の財政悪化がある。全面LEDのフルカラー案内板だと1基数千万



のインシャルコストと、システム全体で年間平均1千万以上のランニングコストがかかり、行政的には負担し難いものとなった。しかし、より根源的には情報社会の急速な進展と、それを背景とする多様なサービス提供拡大があるといえる。現在、駐車場情報はカーナビや冒頭にあげた携帯電話で入手可能になっている。

なお、先に産官で取組んだことを述べたが、産側の組織として「駐車場案内システム研究会」(「PANAC」: PARKING NAVIGATION SYSTEM COUNCIL)が平成2年にメーカー、コンサルタント会社などを会員として正式スタートした。日建設計は代表幹事の1社として就任し、その後NSRIが引継ぎ今日に至っている。この間、今日のWEBによるサービスなども含め、いわゆる「IT型チュウアン」としての体系化を早い段階に確立、提案してきた。この「PANAC」も事業の減少に伴い会員会社の退会が進み、従来の研究活動は休止しているが、意欲ある会員会社を中心に関連情報の提供など、今も一定の使命は担っている。HP (<http://www.panac.ne.jp/>) もご覧いただければ幸甚である。(上野和彦)

この間、今日のWEBによるサービスなども含め、いわゆる「IT型チュウアン」としての体系化を早い段階に確立、提案してきた。この「PANAC」も事業の減少に伴い会員会社の退会が進み、従来の研究活動は休止しているが、意欲ある会員会社を中心に関連情報の提供など、今も一定の使命は担っている。HP (<http://www.panac.ne.jp/>) もご覧いただければ幸甚である。(上野和彦)

定期配信をご希望の方

定期配信を御希望の方は、下記メールアドレスまで。
(chihiro.kimura@nikken.co.jp 担当: 木村千博)

編集後記

さっぽろテレビ塔の展望台室内は、裏公式キャラクター「テレビ父さん」をはじめ、あふれんばかりのおみやげ物の陳列で、ワンダーランド感たっぷりです。お試しあれ。(F)